

財務諸表に対する注記
(平成30年度)

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、個別法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理方針について

消費税等の会計処理は、税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
福岡県出捐金返戻特定資産	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
合 計	200,000,000	0	0	200,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0	0
小 計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
福岡県出捐金返戻特定資産	100,000,000	100,000,000	0	0
小 計	100,000,000	100,000,000	0	0
合 計	200,000,000	200,000,000	0	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	20,476,800	19,452,960	1,023,840
合 計	20,476,800	19,452,960	1,023,840

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国内公社債			
福岡県平成23年度第5回公募公債	200,000,000	205,120,600	5,120,600
合 計	200,000,000	205,120,600	5,120,600

6 リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1)リース資産の内容

その他固定資産

主としてサーバ、コンピュータ等の什器備品である。

(2)リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「(2)固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。